
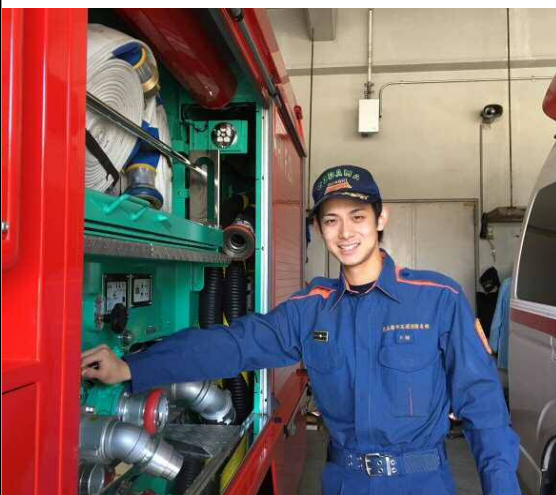


● 児玉郡市広域消防本部 先輩職員からのメッセージ

	<p>Q 消防士になったきっかけ</p> <p>A 人の役に立ちたい・誰かの為に働きたいと思い、消防士・救急救命士を目指しました。救命士の資格を取得する専門学校へ通っていた際、病院実習でこの児玉郡市広域消防本部の救命士の方に会いました。仕事の魅力を教わり、豊富な知識とどんな人にも優しく接している姿に憧れを抱き、この人の下で仕事をしたい、こんな消防官になりたいと強く思ったことがきっかけです。</p>
	<p>Q 印象に残っていること</p> <p>A 消防職員になると普通救命講習会とあって、一般市民に心肺蘇生法やAEDの取扱いなどを教える機会があります。救命講習会の際に、受講者の方から「女性職員がいてくれると心強い」と言われたのを覚えています。女性職員として何ができるのか考えた時に、それは安心感を与えられることなのではないかと感じています。</p>
	<p>Q 消防士を志願する皆さんへ</p> <p>A 消防業務は警防や救急以外にも、総務・予防・査察調査など様々な業務があり、とてもやりがいのある仕事だと思います。また、児玉郡市広域消防本部には豊富な知識をもっている先輩方がたくさんいるので、こんなことを学びたい、こんな消防官になりたいという目標を持ち、是非チャレンジしてみてください。みなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。</p>
	<p>所属 中央消防署          役職 主事（消防士）          採用年度 平成27年度          経歴等 救急救命士          H27 初任教育</p>

	<p>Q 消防士になったきっかけ</p> <p>A 私が消防士になったきっかけは、消防団員である父の影響と、生まれ育ったこの地域住民の方の役に立ち、この手で守りたいと思ったからです。また、災害現場から要救助者を救出し、適切な処置を行い、医療機関へ搬送する、これらを迅速に行う「消防」に強い憧れをもったことから消防士を目指しました。</p>
	<p>Q 印象に残っていること</p> <p>A ある住宅火災で、燃えている建物内に逃げ遅れがいるとの情報が入り、私たちの消防隊は建物内へ進入しました。寝室で要救助者を発見し、隊長の指揮のもと、要救助者を救出しました。          災害現場で実際に要救助者を救出するのはとても大変です。日々の訓練などで、災害に対する知識、技術を高め、いつ発生するかわからない災害に備える必要があると思います。</p>
	<p>Q 消防士を志願する皆さんへ</p> <p>A 消防という仕事は、自分の為に行うのではなく、人の役に立ちたいと心から思う人に向いています。危険な現場や、辛いこともあります。人を助けた時は、今までにない達成感、充実感を感じる事ができます。人の役に立ちたい、助けたいという気持ちがある方は是非受験して下さい。みなさんと共に働けることを楽しみにしています。</p>
	<p>所属 上里分署          役職 主事（消防士）          採用年度 平成24年度          経歴等 H26 初任教育          H28 救急科</p>

● 児玉郡市広域消防本部 先輩職員からのメッセージ

	Q 消防士になったきっかけ
	A 映画「バックドラフト」を見て消防士という仕事を意識するようになりました。火と戦うヒーロー的存在で、自らの職業に誇りを持っている消防士に憧れを感じてました。そんな時、報道等で災害現場において活動している消防士の姿を見る機会があり、生まれ育った街や大切な人を守りたいという想いを強く持つようになり、人の役に立てることができる仕事として、憧れていた消防士を志す決心をしました。
	Q 印象に残っていること
	A 平成27年4月に地域の新しい防災拠点として、消防本部・中央消防署が建設され新体制になり業務を開始しています。また、今年6月には中央消防署児玉分署が新庁舎に移転になりました。そのため新庁舎には、時代の変化やニーズに応えた新機能など活動しやすいように配慮された工夫が随所に見られ、これを機会に職員が気持ちを新たに、地域の安全・安心のまちづくりのために努めています。
所属 中央消防署 所属 課長補佐（消防司令） 大隊副長 採用年度 平成8年度 経歴等 H8 初任教育 H12 救急科 H14 救助科 H22 特殊災害科	Q 消防士を志願する皆さんへ A 消防の仕事は、火災・救急・救助といった現場活動だけでなく、災害を未然に防ぐ予防業務や組織全体を支える総務等、業務内容が幅広い消防では、どの業務もなくしてはならない大切な仕事です。皆さんがこれまでに身につけた知識や経験を活かせる分野がきっとあるはずで、「守りたい」というまっすぐな気持ちを持った皆さんと共に仕事ができる日を楽しみにしています。

	Q 消防士になったきっかけ
	A 小さいころからのあこがれの職業ということもありますが、愛着のある自分の住む、地域に根差した仕事をしたというのが一番の理由です。現在の私の担当業務は様々な建物に対して消火器やスプリンクラー、自動火災報知設備、誘導灯などの消防用設備等を法令に照らし合わせ、書類審査や設置指導、現場検査を行っています。また、住民の方々へ住宅用火災警報器の普及活動や火災予防の啓発活動もしています。
	Q 印象に残っていること
	A 予防業務は法令を遵守させるという厳しさや困難が常に付きまとい、苦しい思いをすることも多々あります。その反面、適切に指導が出来た時は、他では得られない達成感や充実感を得ることができます。またその指導する中で建物の設計士や建築会社、消防用設備業者と協力しながら安全で安心な建物を作り上げ、維持していくところにやりがいを感じています。
所属 予防課 役職 主任（消防士長） 採用年度 平成21年度 経歴等 H21 初任教育 H23 救急科 H27 火災調査科 H28 予防査察科	Q 消防士を志願する皆さんへ A 警防、救急、救助などの災害現場で活動する以外にも、災害現場を作らせない、未然に防ぐ「予防」という仕事もあり、いろいろなやりがいが見つけられる職場です。また、自分だけでは気づかないことに気づかせてくれる、「消防人」として成長させてくれる上司や先輩がこの職場にはたくさんいます。ぜひ、あなたも私たちとこの魅力ある職場で一緒に力を合わせて住民の安全安心のために役立てませんか。ぜひ一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

● 児玉郡市広域消防本部 先輩職員からのメッセージ

	<p>Q 消防士になったきっかけ</p> <p>A 私は高校生の時に父親を亡くしました。大切な家族を失い、命の尊さを知りました。この頃から、人の命に寄り添うこの素直な世界に惹かれ消防士という道を志すようになりました。現在は警防隊に配属され、24時間体制の勤務の中で災害現場に出動したり事務作業や訓練、体力錬成に日々勤めています。</p>
	<p>Q 印象に残っていること</p> <p>A 現場では災害に立ち向かう厳しさを常に痛感しています。しかし厳しい訓練を乗り越え、実際に市民の方の役に立つことが出来た時や、地域の方や小さい子などが消防署見学に来て下さった際に「ありがとう」「将来の夢は消防士になりたい！」などの言葉が聞けた瞬間にこの道を選んで良かったと心から感じました。</p>
	<p>Q 消防士を志願する皆さんへ</p> <p>A 私たち消防士は隊としてチームとして同じ目標に向かって日々努力しています。現場は一人ではありません。信頼のおける仲間がたくさんいます。「消防士になりたい！」と思っている皆さんとチームとして仲間として一つになって働ける日を楽しみにしています。</p>
	<p>所属 中央消防署          役職 主事補（消防士）          採用年度 平成27年度          経歴等 H28 初任教育</p>

	<p>Q 消防士になったきっかけ</p> <p>A 学生の頃、水難救助現場に居合わせた事があります。その時、消防士や周りに居た人達が協力して救出活動をしている中、私は何もできずただ傍観していただけでした。この経験がとても悔しく、自分自身を変えたいと強く感じたことが、消防士を目指すきっかけとなりました。現在は、新しい建物となった児玉分署に勤務をし、消防隊・救急隊として災害出場や訓練をしています。また、潜水員としても活動しており、水難救助現場での潜水活動を行っています。</p>
	<p>Q 印象に残っていること</p> <p>A 消防は災害だけでなく様々な業務もあります。梯子車のイベントでは小さなお子さまから大人の方まで搭乗体験や写真撮影をととても楽しみにしていただいています。街中では消防車に手を振っていただくこともあります。また、車両の見学などで、庁舎を訪れてくれる人の中には、「大きくなったら消防士になりたい！」といってくれる子供達もいます。このような住民の皆様とのつながりが自分の励みになり、そして消防という仕事に対して強くやりがいを感じる事ができます。</p>
	<p>Q 消防士を志願する皆さんへ</p> <p>A 皆さんは消防に対してどのようなイメージを持っているでしょうか？過酷な現場や厳しい訓練、体力勝負etc。正直、その通りだと思います。ただ少し違うのは、どんな現場でも先輩や上司といった周りの方からのサポートがあります。つらい訓練でも同期や先輩と一緒にだからこそやり遂げることが出来ます。消防にはこのような熱い仲間がいます。私自身、多くの仲間を支えられ日々成長することができています。これから消防士を目指す皆さんもこの熱い仲間の一員として児玉郡市の街や住民を災害から守りましょう。</p>
	<p>所属 児玉分署          役職 主任（消防士長）          採用年度 平成23年度          経歴等 H24 初任教育          H26 潜水技術基礎課程・潜水員          H27 救急科          H28 警防活動教育</p>

● 児玉郡市広域消防本部 先輩職員からのメッセージ



所属 中央消防署  
 所属 係長（消防司令補） 救助隊長  
 採用年度 平成13年度  
 経歴等 H13 初任教育  
 H17 救急科  
 H19 救助科  
 H24 潜水技術基礎課程  
 H28 潜水業務管理課程  
 H29 潜水班長  
 H30 消防大学校救助科

Q 消防士になったきっかけ

A 幼い頃は、体を動かすことがとにかく好きでした。少年時代になると教員になろうと考えたこともあり、学生時代には教員免許を取得したりもしました。そのように成長する過程で、将来は人の役に立つ仕事を！という考えが基盤としてあったのだと思います。また、自分の生まれ育った街は自分が受け継いで、守っていきたいという気持ちもあり、本職を選びました。

現在は、救助隊長、潜水隊長として中央消防署に勤務しています。人命を最前線で救助してく現場は過酷ですが、やり甲斐と責任感を持ち、隊員達と乗り越えています。

Q 印象に残っていること

A 現在の私の立場は、部下や後輩を指導・教育してるところにいます。私が指導されてきたことを伝統の一つとし、さらに自身で得た経験と知識を加え、指導をしています。指導、教育した内容が後輩達に確実に伝わり、「先日の訓練を現場で活用しました」「次の訓練機会で発揮することができました」とキラキラした顔で話をされると、私の仕事へのモチベーションは著しく上昇します。その世代、その世代が受け継がれた教育内容に、自身の知識・経験を加えて伝授していくことで、組織は力強く繁栄してくはずだと信じています。

Q 消防士を志願する皆さんへ

A どんな職業に就いても、その後を決めるのは自分次第だと思います。自分に何が出来るか？という選択方法では必然的に自分に限界を作ってしまう。自分は何をしたいか！何をすべきか！という選択方法であれば、きっと挑戦し続けるはず。消防は、いつ起こるか分からない、起きないかもしれない災害に向け対策をし、訓練・準備をしています。しかし、これを無駄な努力として捉えている職員は一人もいません。なぜなら、全ては住民のためだと思っているからです。相互に研鑽でき、キラキラスマイルを見せてくれる隊員が集まることを希望します。

児玉郡市広域消防本部・署の組織（平成30年4月1日現在）

